



障害について考える

目の前に、長い階段があります。体力に自信がある人は簡単に登れますが、高齢の人や車いすを使っている人は登るのが困難です。この階段は、人によっては「障害」となります。もしもエレベーターがあれば、階段を登れない人にとっても「障害」はなくなり、誰もが先に進むことができます。

障害を病気等による個人的な問題ととらえるのが、障害の「医学モデル」の考え方です。医学モデルだけでなく、障害は生活する上でバリア（障壁）となる社会の制度や仕組み等によって生じるとする考え方を「社会モデル」と呼びます。

バリアを取り除くために、社会全体で責任を持って取り組むことが大切です。

コラム 障害者権利条約

2006年に国際連合で「障害者権利条約」が採択されました。採択の際のスピーチで世界盲人連合会長のキキ・ノルドストローム氏の語った、“Nothing about us, without us! (私達のことを、私達ぬきに決めるな!)”という言葉が、全ての障害のある人の共通の思いを表わしています。

※出典：外務省・文部科学省ホームページ



●外務省ホームページ
障害者権利条約



●内閣府ホームページ
障害を理由とする差別の
解消の推進に関する基本方針

